

平成 29 年度第 1 回 モアショロ原野螺湾足寄停車場線モアショロ原野地区の環境影響に関する懇談会  
議事概要

日時：平成 29 年 8 月 8 日（火）10：00～11：45

場所：足寄町町民センター2 階会議室

出席者：《有識者構成員》

氏名	専門分野	所属等
加賀屋 誠一（座長）	地域協働、都市計画	北海道大学名誉教授
持田 誠	植物	浦幌町立博物館学芸員
山本純郎	鳥類	希少鳥類研究者
飯嶋 良朗	鳥類	日本野鳥の会十勝支部監事
石垣 章	淡水魚類	十勝川の生態系再生実行委員会
澤村 寛	地質	足寄動物化石博物館 館長

《有識者構成員欠席者》

氏名	専門分野	所属等
柳川 久	動物類全般	帯広畜産大学副学長

《オブザーバー》

氏名	所属等
村石 靖	足寄町役場経済課主査
岩淵 堅志	足寄町役場建設課室長
安藤 祐樹	環境省釧路自然環境事務所 阿寒湖自然保護官事務所自然保護官
三間 武	北海道森林管理局 十勝東部森林管理署主任森林整備官

## 【 懇 談 会 議 事 】

1. 開会：帯広建設管理部事業室長より開会挨拶
2. 配布資料等の確認
3. 事務局より懇談会設置要領説明
4. 議事（内容については配布資料参照）
  - 4.1 平成 28 年度以降経過及び平成 28 年度現地調査結果概要説明
  - 4.2 平成 29 年度調査結果説明
    - (1) 哺乳類・両生類
    - (2) 鳥類
    - (3) 植物
    - (4) 水質
    - (5) 上記調査結果に基づいた保全対策案について
  - 4.3 平成 28 年度、29 年度調査結果を踏まえた設計について
5. 意見交換：別紙
6. 閉会・今後の予定について

## 【意見交換概要】

事務局より本日欠席の柳川久構成員からのコメント紹介。

- ① 今回加わったデータとこれまでのデータから計画の変更、あるいは中止しなければならない部分はない。今まで通りで構わない。
- ② エゾサンショウウオの道路横断については、道路側に出られないようにして、道路と反対側には出られるようにする方が良い。素掘りにするならトラップは必要ない。現時点では具体的な対応はないが、将来的に対応可能なようにチェック項目として入れておけばよい。
- ③ 懇談会の公開については特に異義はない。

加賀屋 誠一

---

・平成 29 年度を中心とした調査結果とそれに対する対策、それに基づいた道路の線形と保全の対策について、各専門の部分を中心にコメントをいただきたい。

山本 純郎

---

・シマフクロウに関しては、計画路線付近にはおそらくいないであろうが、周辺では今年度に幼鳥が確認されているため、通過個体がいることは十分考えられる。

・計画路線付近の水域には魚自体があまり多くないため、定着可能性はかなり低いであろう。

・シマフクロウの餌となるエゾサンショウウオやエゾアカガエルについては、道路に出ないように横断管を数か所にいれることで、シマフクロウが両生類を道路で採餌する際の事故を防ぐための取組を根室では考えている。

加賀屋 誠一

---

エゾサンショウウオを横断させる管等については、具体的な道路の設計の方で検討していただく、ということよろしいか。

シマフクロウについては定着ということを考えなくてもいいとのことだが、通過ということに関して配慮も少し必要かもしれない。

飯嶋 良朗

---

・平成 28 年、29 年の調査結果からこの地区に当然生息しているであろう鳥類が確認されたといえる。

・オシドリやカワアイサ（普通種）といったカモ類は樹洞で営巣し、ヤマセミ（希少種）は崖がないと営巣できないため、工事にあたってはこれらの鳥類営巣環境への配慮をしてほしい。

・計画路線付近の鳥相を正確に把握するという面では調査回数が少ないかも知れない。

・鳥類についてはではないが、道路ができて車がいりやすくなることで植物の盗掘がされやすくなるのではないかな？

持田 誠

---

・昨年度にはできなかった春季調査の結果、概ね生育している可能性のある植物は確認されたと思われる。

・課題となるのは蘚苔類であり、一般的に野外で識別できるのは蘚（セン）類で、苔（タイ）類の方は非常に把握が難しく、苔（タイ）類生育種を把握しようと思うと3年位かかるであろう。今年9月までの調査で十分留意して確認していただきたい。

・蘚（セン）類、苔（タイ）類の他に角苔類というものがある。環境的にはこの地区には角苔（ツノゴケ）類は生育してないと思われるが、9月までの調査ではこの角苔（ツノゴケ）類についても念頭に調査をしていただきたい。

・最新の道路ルート案はヒカリゴケ生育箇所を避けるよう最大限考慮されている案であろう。

石垣 章

---

・昨年度と同じく、工事の際に水域への影響に留意していただきたい。

澤村 寛

---

・地質の方は特に問題になるようなことはない。

・ヒカリゴケについては、さらに生育箇所が確認される可能性があるが、確認されている箇所について可能な限り配慮がされるのであれば問題ないであろう。

加賀屋 誠一

---

・道路ルートの選定についてはかなり考慮していただいていると思う。

・前回懇談会でも意見を述べたが、この懇談会で論議している内容について公開した方がいいのではないかと考えている。柳川構成員からは公開は差支えないというコメントをいただいているが、他の構成員の方で公開について意見をいただきたい。将来的に公開するという形で懇談会全体で意思決定をしてもよろしいか？

飯嶋 良朗

---

公開すべきだと思う。しかし、道路が良くなって車ではいりやすくなると希少植物の盗掘の恐れがあるため、内容の公開については、場合によっては控えた方が良いと思う。

事務局

---

盗掘の恐れのある植物というのは今回の調査で確認されていれば指摘していただきたい。

持田 誠

---

一部ラン科の植物があるが、盗掘の対象になるような種類ではないと思う。むしろクリンソウやオオサクラソウの方が盗掘される可能性がある。一部のスゲ類などは昔盗掘の対象ではなかったのだが、最近人気が出てきている。今回の確認状況ではそれらのスゲ類についても、盗掘の対象にはならないと思う。

むしろ生息地の情報としては、公開しておいた方がいいと感じている。今後の調査で個別に対応しなければいけない種は出てくると思うが、現時点では大丈夫と思う。

加賀屋 誠一

---

公開にあたり、注意した方がいいことがあれば構成員の皆さんから情報を頂きたい。

持田 誠

---

植物ではラン科のものはなるべく非公開にした方がいいと思う。今回出ているラン科は割と一般的なものが多いが、ラン科の植物はちょっと配慮した方がいいという気がします。

加賀屋 誠一

---

鳥類ではクマゲラでしょうか。

飯嶋 良朗

---

ここで確認されている鳥類ではクマゲラになります。写真を撮りに来る方がたくさんいて、そのために繁殖活動を阻害することが心配であるため、営巣木の有無については要注意だと思う。

加賀屋 誠一

---

配慮する内容としては事務局で構成員と意見交換し、ボーダーラインを検討しながら原則としてなるべく公開していくという形でいかがか？

各構成員

---

了解。

加賀屋 誠一

---

道路の設計については、調査結果に基づいて重要種を避けて進められているが、まだルートを変更できる可能性があると思うので、さらに考えなければいけないということがあれば意見をください。

持田 誠

---

環境的にはかなり配慮・考慮されていると思う。例えばヒカリゴケが生息する環境が風穴一带にあるということで、それを全体的に極力避ける方向でのルート案になっている。風穴そのものを周辺環境を含んで避けるという考え方が大事と思っていた。そのあたりが今回ある程度避けられている。全く影響をゼロにするのはこの環境だと無理だと思う。そういった意味では、最大限考慮されているルートという風を感じた。

事務局

---

山本構成員から根室地方での小動物対応の横断管設置についての話があったが、道路が長いので小動物の移動経路の調査をしながら、通過個体が多い場所に道路完成までに順番に横断管をいれていくというイメージで良いか？

山本 純郎

---

最初に設置する方がよいと思うが、様子を見ながら設置が必要ならいれていくということで良い。

事務局

---

根室ではロードキルなんかで死骸の多い場所で、調査して入れているということか？

山本 純郎

---

そうだが、どの程度の大きさのものを入れれば、うまく通るのかということはわかっていないため、テスト的に実施し、サンショウウオやカエルが通ることが分かった時点で設置した方が無駄にならないと思う。

事務局

---

根室では、何パターンか実施しているという知見があれば紹介していただきたい。

山本 純郎

---

根室市道に二か所か三か所くらい設置例があるが、何パターンもない。

事務局

---

事務局でも事例について資料収集を進めるので、構成員の方々にも検討していただきたい。

山本 純郎

---

分断してしまっても、ほとんど影響ないということがわかれば、横断管設置は必要無いと思う。

事務局

---

懇談会の公開にあたって他に留意すべき点などについて意見をいただきたい。

安藤

---

特に異論はない。

事務局

---

阿寒地域で盗掘の問題は発生しているか？

---

安藤

---

時々盗掘騒ぎはあるが、かなり限定されている。例えばマリモだと何十年かに一度は盗掘騒ぎがあるが、ものすごく特別な種でなければ、阿寒地域で盗掘騒ぎは起きてはいない。

加賀屋 誠一

---

公開するにあたり、もう少し枠を広げて、普段環境の問題で考えていらっしゃる市民の方、あるいは、道路の使い方に対してもご意見を持っておられる方、幅広く意見を求めて、環境保全と道路の使い方について議論し、課題もできるだけ解決していくような、アクティブなワークショップを作ってはどうかと思うが、意見をいただきたい。

澤村 寛

---

ワークショップでは調査結果情報の扱いはどうなるのか？

事務局

---

公開した場合に何らかの悪影響が考えられる場合は、そのような対象については配慮の必要があると思うが、意見をいただきたい。

持田 誠

---

今回の地区に関して言えば、ワークショップで特に秘匿しなくてはいけない情報というのはあまりない。むしろなるべく広く情報共有した方がいい地区と思う。この地区は阿寒寄りなので、釧路管内も含めてこの地域に関心のある方も募集をする方が良いと思う。その上でワークショップでの情報の扱いを個別に取り決め、ルールをつくって進めるのであれば良いと思う。

石垣 章

---

先月の新聞報道でオンネトー全体の観光をもっと広げて行きたいという会合があったので、工事が始まる前にこの動きとの話し合いをしておいた方がいいと思う。

事務局

---

ワークショップ設置については事務局でルールや概要について整理し、相談させていただきたい。その他、意見があればいただきたい。

村石

---

オンネトー全体の観光をもっと広げて行きたいという会合は「オンネトーの魅力創造委員会」で、十勝総合振興局が事務局となり、環境省と足寄が事務局を支援するような形となっている。現在、環境省で行っている国立公園のステップアッププログラムの中で、実際の保全と利用のあり方を探る検討委員会という形になっている。町民も参加しているが、逆に市民の意識喚起という面からのワークショップを通じて町民も積極的に関与してほしいと考えている。

安藤

---

国の観光立国の施策である国立公園満喫プロジェクトの中で全国 8 か所の国立公園でインバウンドを優先的に呼び込み、阿寒国立公園も 2020 年までにインバウンドを以前の 2.4 倍にしようという目標を掲げている。国立公園の中でいくつかビューポイントを定めていて、オンネトー地域も重要な地域と定められている。魅力創造委員会というものを立ち上げて、議論をさせていただいているところである。

事務局

---

今後ワークショップ等の開催へ向けて事務局の方で検討する。